



令和6年1月17日

学校だより

射水市立作道小学校

224号

一人一人が活躍する1年に!



大寒が近くなり、1年でもっとも寒いと言われる時期となりました。1月1日に能登半島地震があり、各ご家庭の皆様も大変だったことと思います。子供たちも大変怖い思いをしたようですが、落ち着いて3学期をスタートすることができたことに感謝いたします。

子供たちの新年の目当ての発表やカードからは、新たな気持ちで、いろいろなことに進んでチャレンジして頑張ろうという意欲が伝わってきました。

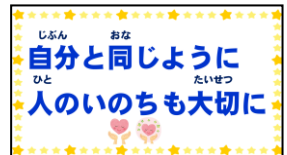
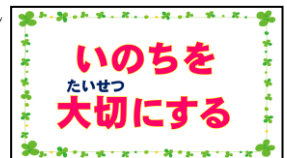
今年は、十干十二支でいうと「甲辰(きのえたつ)」です。「甲」は十干の始まりにあたり、生命や物事の始まりを意味し、「辰」は草木が伸長し、形が整い、活気にあふれている様子を表します。「甲」と「辰」の合わさる今年、これからの成長をさらに形作っていく年だといえるでしょう。子供たちがしっかりと力を付け、天に昇る龍のように勢いに乗って活躍する1年となるように、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。今年もご支援、ご協力をお願いいたします。



始業式では子供たちへ次のような話をしました。

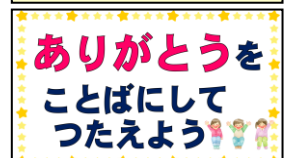
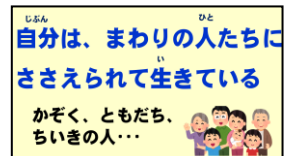
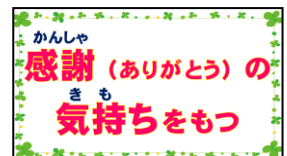
1 命を大切にす

1月1日に能登半島地震という大きな地震がありました。地震のために、それまでは元気に過ごしておられた方々が亡くられたり、たくさんの家が倒壊して住めなくなったりしました。亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、私たちは命について、深く考えなければならぬと思います。地震や災害はいつ起こるか分かりません。そのときに一人ぼっちかもしれません。だからこそ、自分の命は自分で守れるように訓練をしたり、考えて判断できる力を付けたりしておかなければなりません。一人一人が大事な命だということ、そして、自分の命と同じように友達や周りの人の命も大切にしなければならないことを忘れないでください。それは、相手の気持ちを考えることや思いやりのある行動にもつながることだと思います。



2 感謝(ありがとう)の気持ちをもつ

『「ありがとう」心をつつむまほうの言葉』という詩があります。「ありがとう」と言われると嬉しい気持ちになりますね。「ありがとう」は、身の周りの人や物事、その存在自体が「当たり前」ではなく「有り難い」ということ。「ありがとう」の気持ちを忘れず、毎日を過ごしていくと優しい心が育ちます。私たちは、周りの方々に支えられて生きています。たくさんの人にお世話になっています。してもらっばかりでなく、自分からできることを進んでする人になってください。そして、自分がこうして元気に過ごせていることに感謝し、周りの方に何かしてもらったら、素直に「ありがとう」という言葉にして伝えましょう。言葉にして表すことによって相手の人に気持ちが伝わります。そうすれば、きっと相手の人も笑顔になると思います。



「命を大切にす」「感謝の気持ちをもつ」を実行して、笑顔あふれる楽しい学校にしていきたいと思います。

冬休み中の「笑顔、ありがとう、チャレンジ」

<p>わたしは、せんとくものをたたみました。きれいにたたむといいきもちになりました。これからもがんばりたいです。 1年Kさん</p>	<p>おおそうじで、げんかんそうじとそとのそうじとびらをふくそうじをしました。いっぱいそうじをするときもちがよくなりました。 1年Yさん</p>
<p>ぼくは、家ぞくがいそがしいときにおふろをわかしています。おふろをシャワーでながし、せんをして、わかつボタンをおすとおふろがわきます。家ぞくがえがおになってうれしかったです。 2年Oさん</p>	<p>ぼくは、大そうじをてつだいました。さいしょにお店のゆかをスポンジでふいたり、そうじきをかけたりしました。お店がきれいになっていい気分になりました。 2年Nさん</p>
<p>雪がたくさんつもってたいへんだったので、弟といっしょに雪かきをしました。そしたら、あるきやすくなって、車も出しやすくなったから「ありがとう」と言ってくれました。うれしかったので、もっとお手つだいをしたいです。 3年Nさん</p>	<p>ぼくは、せんとくものをほす、たたむ、雪かき、おふろなど、たくさんのお手つだいをしました。一番がんばったのは、雪かきです。お母さんに「ありがとう」といってもらえてうれしかったのでまたしようと思いました。 3年Mさん</p>
<p>自分からしょっきのかたづけやせんとくものたたみをしました。お母さんが「いつもありがとう。たすかる」と言ってくれます。手伝いをすると、お母さんも笑顔になるし、わたしも笑顔になるなと思いました。これからも続けたいです。 4年Kさん</p>	<p>地しんのときにひなん所に行くとき、市のしょく員さんが水をくれたり、近所のおばあちゃんがビスケットをくれたりしました。笑顔になったし、ありがとうと思いました。今回してもらったことを、だれかにできるようになれたらいいなと思いました。 4年Nさん</p>
<p>ぼくは、弟にお弁当を作りました。お母さんが「ありがとう」と喜んでくれ、弟も「おいしい」と笑顔で食べてくれて、うれしかったです。これからもだれかを笑顔にしたり、ありがとうと感謝されることをしたりしていきたいと思いました。そうして人として優しい気持ちをもった人に成長していきたいと思いました。 5年Oさん</p>	<p>私は、お手伝いとそうじにチャレンジしました。お手伝いは、雪かき、料理、ふろそうじを特にならしました。春巻きを作ったらみんながおいしいと言ってくれて、また作りたいと思いました。そうじをするのはすごく大変だったけれど、探していた物も出てきてよかったなと思いました。これからもいろいろなことにチャレンジしたいです。 5年Mさん</p>
<p>地震のとき、おばあさんが杖をついて、つかれた感じで避難所に入ってきてとても辛そうに立っていました。ぼくは、見ていることができず、座っていた席を譲りました。するとおばあさんに「ありがとう」と言ってもらえました。とてもうれしかったです。これからは、だれかが困っていたら積極的に行動したいです。 6年Kさん</p>	<p>ふだんやらない皿洗いや洗たく物たたみなど、母や父がやっていることをやりました。自分からチャレンジし、家族の役に立つと自分は笑顔になるし、相手はうれしい気持ちになります。「ありがとう」と感謝されやりがいもあつたし、人の役に立つのはすごくほこらしい気持ちになることを知り、これからも率先してやりたいと思いました。 6年Yさん</p>



休み時間の地震・津波避難訓練 (1/16)

2学期には、学習中の地震・津波の際の避難訓練を実施しましたが、今回は、休憩時の避難訓練を実施しました。子供たちは、落ち着いて3階に避難することができました。学校では、子供たちの安全を第一に避難訓練や災害時の指導等を重ねていきます。ご家庭でも災害の際の行動について、ぜひ話し合っただけければと思います。

